

●復活後第一主日

泉のほとり

今月の詩篇「第九八編」

とどろけ、海とそこに満ちるもの

世界とそこに住むものよ。



主は生きておられる

今日はイースター、主イエスが復活されたことを記念する日、わたしたちにとって一番嬉しい日です。

主イエスの復活は、二千年前に地球の裏側で起こった出来事です。でもそれは単なる過去のことではありません。もし主の復活がなかったら、ここに教会はなく、幼稚園もありません。ここに集まっている皆さんは、どこで何をしています。教会で出会って結婚した人たちもいます。その家庭に生まれた人たちは、主の復活がなければ、この世に存在しなかったのです。

そんなに昔の出来事が、どうして今の私たちにこれほど大きな影響をもたらしているのでしょうか。それは、復活された主イエスが、今も生きておられるからです。主は今も生きて働いておられます。仕事をしておられるのです。主イエスの仕事は、羊飼いです。でも主が飼われるのは動物の羊ではありません。人間の羊です。

主が復活された朝、女の弟子たちが主の体に香油を塗るために墓へ行きました。でも墓へ来て見ると、入り口の石が動かしてあります。中へ入ってみると、天使がいて、主は復活されて、弟子たちより先にガリラヤへ行かれると告げたのです。

主イエスに従ってガリラヤを出て来た彼らでしたが、主が死んでしまわれて、行く所がなく、仕方なくガリラヤへ帰るのです。一度は家族を捨て、故郷を捨てた彼らです。喜んで迎ええられるこ

とほないでしょう。しかも自分たちは主を見捨てて逃げた身です。元気よく帰れるはずがありません。まるで飼いの羊のいない羊のように、ばらばらになつて、とぼとぼと帰って行ったのです。

しかし主は、その彼らを迎えるために、先にガリラヤへ行かれたのです。先立って歩くのは、羊飼いの歩き方です。主はもう一度、飼う者のいない弟子たちの羊飼いになられたのです。そして弟子たちは全世界に伝道者として派遣されました。主も彼らと共にいて、働いてくださいました。それが今でも続いているのです。

もうひとつ大事なことは、神さまの御心に忠実に従って十字架で死なれた主を、神さまが復活させられたことです。主の死は、ユダヤ人の指導者たちや弟子たち、民衆、ローマ総督などに代表される人間の罪が引き起こした出来事です。もし主が死んだままだったとしたら、この世は結局罪と悪が支配するところになってしまいます。神さまはそれをお許しにならずに、世の暗闇に向かって「光あれ」と言われたのです。そして主を復活させられました。主の復活は神さまがこの世の支配者でいますことのしるしです。だからわたしたちの望みが絶えることはありません。いつも全力を尽くして、主の御心に従う歩みができるのです。皆さん、主は生きておられます。神さまは生きておられます。だからわたしたちに希望があるのです。

善き羊飼いのよ

善き羊飼いのよ、

わたしを採り出してください。

そして、わたしをあなたの群れへと

再び連れ帰ってください。

あなたの恵みによって、

わたしをよく導いてください。

わたしに残された人生の日々、

あなたの家に住まうことができるように。

そこにいる人たちとともに、

あなたをいつまでも

ほめたたえることができるように。

聖書を読む前に

主よ、あなたは、わたしたちが歩み行く

道を照らす光として、

あなたの言葉をくださいました。

その言葉に

思いめぐらすことができるよう、

その教えに従うことができるよう、

わたしたちを導いてください。

そうしてわたしたちが、

まったき日に至るまで

ますます光を増すその輝きを、

あなたの言葉のうちに

見いだすことができますように。

わたしたちの主、

イエス・キリストによって、

アーメン

平野克己 「祈りのともしび」より

ヒエロニムスの祈り

今日のお知らせ

○第一礼拝後、教会学校と並行してロビーでのコーヒーサービスト、園舎二階リズム室では、「ぶどうの会」が開かれます。どうぞご参加ください。

○第一礼拝後、ホールで讚美と報告の会をします。お昼はお弁当です。

○今日の第二礼拝の説教は、西条伝道所の田端良恵牧師が担当されます。

○第二礼拝で咸田光瑠（くらたみちる）さんの祝福式を行います。2017年12月25日生まれ。当教会で結婚された、父蔵田真吾、母蔵田悠子（ゆうこ）さんの第一子です。

○午後二時半から、菊池美穂子姉の按手式礼拝を行います。ゲストとして、桜台教会の中川寛牧師、日本バプテスト同盟金沢文庫キリスト教会の森島忠牧師、西条伝道所の田端良恵牧師が参加されます。

○按手式礼拝に続いて、ホールで感謝会をします。

○明日九日（月）から幼稚園の新年度の保育が始まります。翌一〇日（火）午前一〇時から入園式があります。

第一礼拝 (午前9時30分)

讃美歌 ちいさいこどもの

心をひとつに

説教 「平和があるように」

聖書 ヨハネ20章19節～23節 (新約P210)

司式 山名隆史兄

説教者 聖餐司式 吉村和雄 牧師

前奏曲「今日神の子は死に打ち勝ち」J.S.Bach

○「ちいさいこどものサムエルは」

1. ちいさいこどもの サムエルは
かみさまのよぶこえ ききました
「サムエルよ サムエルよ」

2. ちいさいこえて きょうもまた
かみさまのよぶこえ きこえます
ぼくのなまえも わたしのも
「しもべはききます しゅよおはなしください」
アーメン

○フルートによる讃美

「Holy holy holy」ドイツ

○讃美歌21 393番 (3面に楽譜があります)

1. ころを一つに 平和を求め
主を愛する愛 明るく燃やそう
主はぶどうの幹、われらその枝
主はわれらのもの、われら主のもの

2. 恵みの子たちよ、交わり深め
愛とまこととを 互いに誓おう
われらのきずなが 弱まる時も
強めてください、主の愛により

3. 主はわれらのため 苦しみを受け
その友のために 命を捨てた
われらも互いに まことの愛を
兄弟姉妹と 共に分け合おう

4. 分かたれた民が 一つにされる
その日が来るのを われらは望もう
主の光を受け その輝きを
世界に示そう、主の弟子として

聖餐曲 無伴奏フルートのための

ファンタジー第7番 G.Ph.5177

第二礼拝 (午前11時10分)

讃美歌 149番 II167番

詩編 第98編 (旧約P935)

説教 「命の川の源流にはあの御方がおられます」

聖書 「テサロニケ5章23節 (新約P379)

司式 山名隆史兄 聖餐司式 吉村和雄 牧師

説教者 田端良恵 牧師

前奏曲「キリストは死の縄目につき」J.S.Bach

○讃美歌 149番

○フルートによる讃美

「Holy holy holy」ドイツ

○聖歌隊による讃美

「おどろくな」M.7777

おどろくな おどろくな

十字架につけられしナザレのイエス

イエスを洩れらたずぬれど

すでによみがえりて ここにいまさず

見よこころ 納めしところは

されど行きて告げよ

弟子たちとペテロとに行きて告げよ

洩れらに先立ち行きたもう

ガリラヤに行きたもう

見えたまわん かしこにて み言葉のごと

○讃美歌 II167番

聖餐曲 無伴奏フルートのための

ファンタジー第7番 G.Ph.5177

後奏曲「いざやともに」H.ハルトマンバウ

後奏曲「いざやともに」H.ハルトマンバウ

※礼拝には、聖書、讃美歌、礼拝のしおりを毎週お持ちください。